

平成24年行政事業レビューシート (総務省)

<b>事業名</b>	光空間通信技術の研究開発		<b>担当部署</b>	情報通信国際戦略局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～平成23年度		<b>担当課室</b>	宇宙通信政策課		<b>課長</b>	沼田 尚道		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	総務省設置法第4条第75号		<b>関係する計 画、通知等</b>	「新成長戦略」(平成22年6月18日 閣議決定)					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	近年、資源探査や地球観測、災害状況把握、国土管理等に用いられるカメラや観測センサーの高性能化や撮影回数の増加により、観測データの大容量化へのニーズが急激に増加している。そこで、これらの高速大容量伝送ニーズに応えることによって、資源探査や災害状況把握等の公的な観測システムの能力の大幅向上に資するとともに、小型観測衛星技術とのパッケージによる海外展開が可能となり、我が国宇宙機器産業の国際競争力強化に資する。								
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	衛星や航空機による地球観測等において、観測データの更なる高速大容量化へのニーズが高まる中で、我が国が強みを持つ光技術を活用した光空間データ伝送技術の研究開発を実施し、電波の伝送容量に比べて100倍以上となる小型軽量で高速大容量の光空間データ伝送技術を確立する。本研究開発では、光空間通信による40Gbps級の移動体通信を実現するため、光の大気揺らぎに強い通信方式や、雲等の遮断物により光が遮断された場合に瞬時に別の地上局に接続する通信プロトコルのほか、光ビームを高精度で追尾するための研究開発を実施する。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予 算 の 状 況	当初予算	-	510	0	0	0		
		補正予算	-	420	0	0			
		繰越し等	-	-420	420	0			
		計	-	510	420	0	0		
		執行額	-	495	419				
	執行率(%)	-	97.1%	99.8%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	電波の伝送容量に比べて100倍以上となる小型軽量で高速大容量の光空間データ伝送技術を確立する。 研究開発成果の確認には終了後一定の期間を要するのが通常であることから、「諮問第2号「国の研究開発評価に関する大綱的指針について」に対する答申」(平成13年11月28日総合科学技術会議)に基づき、研究開発終了後、外部有識者による追跡評価を行い、成果目標の達成度合いも含めて評価いただくこととしている。このため、成果実績等については現時点では記載することが困難。		成果実績		-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-		
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①特許出願数 ②論文掲載数 ③研究発表数	活動実績 (当初見込み)	①:件	-	5	4(3)	-		
			②:件	-	3	10(1)	-		
			③:件	-	0	6(5)	-		
<b>単位当たり コスト</b>	①特許出願数:105(百万円/件) ②論文掲載数:42(百万円/件) ③研究発表数:70(百万円/件)		算出根拠	活動実績の件数を用いて単位当たりコスト(=X/Y)の算出を行った。 X:平成23年度執行額(百万円) Y:平成23年度活動実績の①から③の件数(件)					
<b>平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	<b>主な増減理由</b>					
				平成23年度をもって事業終了					
	<b>計</b>								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本施策は社会活動及び経済活動の根幹である情報通信インフラの高度化を図るものであり、その成果による利益は広く国民に享受されるものであることから、国民のニーズに応えるものと認められる。また、本施策は、先端的でリスクの高い研究開発であるため、国が主導して取り組むべき施策である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、実施希望者の公募を広く行い、研究提案について外部有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。また、支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うことにより、経費の執行の適正性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	毎年度、外部有識者により、研究開発の実施状況及び次年度の実施計画を評価し、引き続き研究開発を実施することの妥当性を判断している。 また、当初見込みを上回る活動実績となっている等、研究開発計画に沿って順調に実施され、平成23年度をもって事業を終了した。なお、研究開発成果の確認には終了後一定の期間を要するのが通常であることから、研究開発終了後、外部有識者による追跡評価を行い、成果目標の達成度合いも含めて評価いただくこととしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本施策は社会活動及び経済活動の根幹である情報通信インフラの高度化を図るものであり、その成果による利益は広く国民に享受されるものであることから、国民のニーズに応えるものと認められる。</p> <p>○実施希望者の公募を広く行い、研究提案について外部有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。</p> <p>○毎年度、外部有識者により、研究開発の実施状況及び次年度の実施計画を評価し、引き続き研究開発を実施することの妥当性を判断している。また、支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うことにより、経費の執行の適正性を確保している。</p> <p>○当初見込みを上回る活動実績となっている等、研究開発計画に沿って順調に実施され、平成23年度をもって事業を終了した。なお、研究開発成果の確認には終了後一定の期間を要するのが通常であることから、「諮問第2号「国の研究開発評価に関する大綱的指針について」に対する答申」(平成13年11月28日総合科学技術会議)に基づき、研究開発終了後、外部有識者による追跡評価を行い、成果目標の達成度合いも含めて評価いただくこととしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
平成23年度をもって事業終了			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
初期の目標を達成したことから、23年度をもって研究開発終了			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0058

※平成23年度実績を記入

総務省 419百万円



【公募・委託】

A. 日本電気株

419百万円

光空間通信技術の研究開発の実施

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株	光空間通信技術の研究開発の実施	419	公募・委託	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					